

科目名	建築設計 I B	英語科目名	Architectural Design I B
開講年度・学期	平成28年度・後期	対象学科・専攻・学年	建築学科3年
授業形態	演習	必修 or 選択	必修(必合格科目)
単位数	2 単位	単位種類	履修単位
担当教員	慶野正司(担当大島) 尾立弘史、山崎晋	居室(もしくは所属)	(担当大島 建築棟 2 階デザインスタジオ内) 建築棟1階ギャラリー内、同上
電話	(担当大島)内線 844 尾立:内線 835、 山崎:内線831	E-mail	(担当大島)o-shima@小山高専ドメイン oryu@小山高専ドメイン、 yamazaki@小山高専ドメイン
授業の到達目標		授業到達目標との対応	
		小山高専の 教育方針	学習・教育到達 目標(JABEE)
目標1, 2は課題1で慶野が、3, 4は課題2で尾立が担当する			JABEE 基 準
1、美術館の計画コンセプトの構築および「建築」と「街」の関係性等設計手法を説明できる		②	
2、美術館の空間を創造性豊かにデザインし、建築図面や模型として表現しそのプレゼンテーションができる		②	
3、こども園の計画コンセプトが構築でき、設計手法を説明できる		②	
4、新しいこども園の空間を創造性豊かにデザインし、建築図面として表現しそのプレゼンテーションができる		②	
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
エスキス内容の提出物と質疑応答からの理解度、最終提出物と口頭発表の内容により評価する。 これらを総合し60%以上で達成とする。			
評価方法			
エスキス内容の提出物と質疑応答等と、最終提出物の内容を加重平均し評価する。 2つの担当がそれぞれの提出物等で50%ずつ評価する。 定期試験は行わない。			
授業内容			
1. 課題1「まちなかミュージアム」の解説.コンセプトの構築方法・設計諸元整理、機能構成・ブロックプラン検討 2. 課題1「まちなかミュージアム」の配置計画・平面構成の検討 3. 課題1「まちなかミュージアム」の配置・平面・立面・断面計画の検討(ポリウム模型) 4. 課題1「まちなかミュージアム」のエスキスチェック(エスキス模型) 5. 課題1「まちなかミュージアム」の最終チェック、作図・模型製作 6. 課題1「まちなかミュージアム」の図面.模型提出 7. 課題1「まちなかミュージアム」の講評会 8. 中間試験時 課題2「こども園」の解説 9. 課題2「こども園」のエスキス1 10. 課題2「こども園」のエスキス2 11. 課題2「こども園」の製図1 12. 課題2「こども園」の製図2 13. 課題2「こども園」の模型製作 14. 課題2「こども園」の模型製作 15. 課題2「こども園」の講評会			
キーワード	設計、美術館、こども園、幼稚園、保育所		
教科書	特になし		
参考書	各種建築・デザイン関連雑誌		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	創造演習Ⅱ、インテリアデザイン		
現学年の関連科目	創造演習ⅢA、B		
次年度以降の関連科目	建築設計ⅡA、B		
連絡事項			
1. 課題説明後は、適宜スケジュール通りの計画内容チェックを個人的に受ける授業となる。また、課題終了時は必ず作品発表表を学生の前で全員に対するプレゼンテーションを行う。 2. 作品未提出者は評価できないので注意すること。また、作品が課題要求を満たさない場合(未提出も同様)は再提出を求めらるので必ず提出すること。 3. 設計の計画内容を個別チェックで行うため、自宅で常に設計(エスキス図面、スケッチ、模型)を進め、教員にチェックしてもらおうべきところを事前整理しておく必要がある。 4. 建築雑誌や実際の有名建築物を見て、自分の好きな建築を1つでも見つけ出して欲しい。 5. 設計を進めるにあたって参考となるのが建築雑誌に掲載されている関係建築物である。様々な雑誌に必ず目を通し、課題に対する詳細な計画をより良くする手法を学ぶこと。また設計作業中は建築雑誌や参考資料が手元にあるよう心がけることが望ましい。			
シラバス作成年月日	平成28年2月5日		